

# 手に手を

平成29年1月18日

第74号

発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会  
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47  
TEL 0798(33)7713  
FAX 0798(33)7743



障がいがあってもなくても関係ない！

ロックのリズム・音楽でつながいたい！



平成28年10月2日（日）甲東ホールにて、啓発活動の一環として今年度最大イベント、サルサガムテープのライブが行われました。育成会関係者141名（本人63名、保護者・支援者58名、役員スタッフ20名）一般市民125名の参加に加え、バンドメンバー17名、音響スタッフ4名、ホールスタッフ3名の総勢290名。最初は少し緊張気味でしたが梶原さんとの「六甲おろし」の大合唱でほぐれ、ライブが進むにつれてテンションも上がり、手作りのバケツドラムやペットボトルのマラカスを思い思いに鳴らしたり踊ったりと会場は熱気に包まれました。アンコールでは今村市長にも共演していただき♪「雨上がりの夜空に」♪「ディドリーム・ビリーバー」をみんなと一緒に熱唱し大いに盛り上りました。



## ライブを終えて

今回のライブが実現したエネルギー源は、ずうっと想いつづける力です。この、ずうっと想いつづける力を表す適切な日本語はなんでしょう？望み・願望・夢・・うーん、どれもなんとなくしっくりこない。特に夢という言葉はふさわしくない気がします。そんなふわふわしたものではない遅しさを、みなさんから受け取りました。

「サルサガムテープを呼ぶのが夢なんです！」なんて喜々として言ってくる方に限って、それ以降音沙汰なしであればいったい何だったのか？と首を傾げる事が度々です。

夢よりもっと現実的で誠実な想い…

なんでしょう？

あえて言葉を当てはめるとしたら、「希望」ではないでしょうか。夢や願望は個人的なワールドで完結しがちですが、希望は違います。もっと社会的な拡がりがあります。サルサガムテープのライブをみんなで楽しみ、みんなで元気になり、明るい明日を、みんなで引き寄せる。だれかひとりが喜ぶのではなく、みんなでハッピーになる。そういう想いの集合が希望にはあります。だからずうっと衰えない。

だからライブが実現した。

みんなで抱く希望は必ず現実になる！



かしわ 哲氏

サルサガムテープが結成されて23年、私がドラムを叩くようになってから17年が経ちました。文字通り糸余曲折のバンドストーリーでしたが、何がこんなにも自分を惹き付けているのか、本当のこととはわかりません。

わかりませんが、このバンドで感じる素晴らしい瞬間を私なりの言葉にすると「神がかっている！」です。

アートや表現活動は、次元を超えた言葉では説明できないエネルギーを秘めていて、それがアートをアート足らしめ、多くの人々を魅了します。

それは、ロックでも同じで、障がいのあるなしにも関係ありません。

サルサガムテープのライブ演奏中、一心に太鼓を叩くメンバー、楽しさ全開で踊るメンバー、ただその場にたたずむメンバー、ステージ上で、みながそれぞれの身体で感じることを、それ

ぞの感性で表現している瞬間。当たり前のように奇跡のような瞬間に毎回遭遇し、感動しています。

こんなにも私のアンテナをビシビシと刺激するエネルギーを発するサルサガムテープのメンバーとは、一体何者なのでしょうか？！

私には、まさに「神がかっている！」としか説明できません！！！



梶原 徹也氏

障がいがあっても関係ない！パワーと笑顔あふれる底抜けに明るいパフォーマンスでそこにいる誰もが心から楽しいと思える場所を作りたい！そんなメッセージは伝わったでしょうか。サルサガムテープのメンバーが打ち鳴らすガムテープドラムのリズムは会場を巻き込み素晴らしい景色を見せてくれました。

私たちの子どもは障がいをもって生まれました。様々な葛藤を繰り返し、何度も心が折れながら、それでも我が子を愛し大切に育ててきました。7月に起こった津久井やまゆり園の痛ましい事件、それは言葉にできない衝撃でした。加害者の元職員の障がい者の存在価値を否定する供述をどう受け止めたらいいのでしょうか。

生命の重さはみな同じです。私たちは声を大にして伝えなければなりません。彼らも家族も幸せだと。正しい理解と適切な支援があればどんなに障がいが重くても地域で生きていけることを。彼らが生きやすい社会は誰もが生きやすい社会だということを。そんな心優しい社会の実現に向けて自分たちの周りから自分たちができる形で発信を続けます。「西宮啓発隊」間もなく始動！！

近藤 真由美

## ~~~~~ 学齢期部会活動報告 ~~~~

### ▶親睦会

平成28年7月1日（金）参加者19名

今、悩んでいること、疑問に思っていること、今年度学齢期で企画してほしい事など、ざっくばらんに意見を出し合え会員同士の交流を図ることが出来ました。

### ▶施設見学

平成28年9月16日（金）参加者15名、新生会作業所、つとポート、いずみ園

新生会作業所（就労支援A型B型）は、一般の人と変わらない程バリバリ仕事をしている人と、自分の体調に応じ日数制限をしながらゆっくり働いている人がいました。

つとポート（就労支援B型）は、若い人が多く、音楽が流れていて明るい雰囲気の職場でした。

いずみ園（生活介護）は、個々に合った活動をしていました。

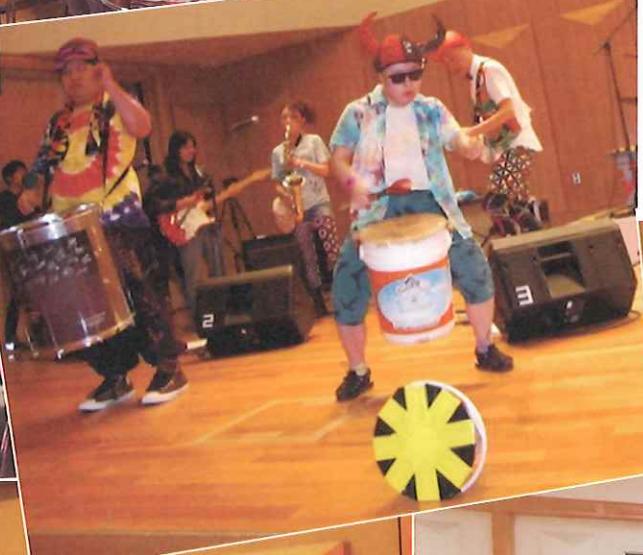
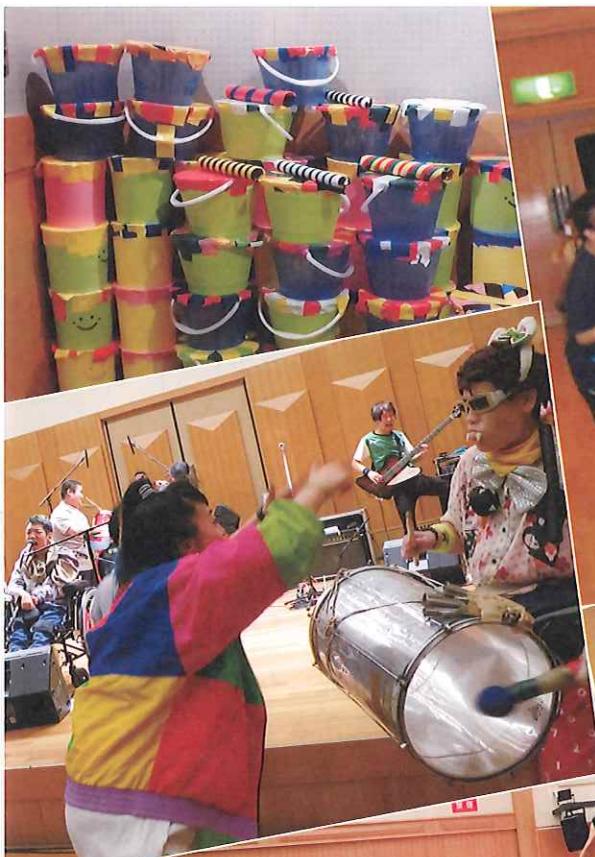
それぞれの施設を見学した事で、自分の子どもが将来どのように過ごしていくのかを考える良い機会になりました。

### ▶研修会

「一羊会実践発表会」～学齢期保護者対象～

平成28年10月11日（火）福祉センター 参加者16名

一羊会の中島部長にお越しいただき、6月に勤労会館で行われた時と同様にパワーポイントのスライド、本番のビデオを使い発表していただきました。どの報告もわかりやすく、微笑ましい場面ではつられて笑顔になりました。漫然としか、わかっていないかった事についても理解を深めることができました。





## ★研修会★

### 障害者差別解消法ってなあに？～暮らしが良くなっていく工夫の積み重ね～

平成28年9月6日(火)社会福祉法人西宮市社会福祉協議会 障害者総合相談支援センターにしのみやセンター長、内閣府障害者政策委員会委員、NHK Eテレ「バリバラ」コメンテーターの玉木幸則氏にご講演いただきました。

障害とは、機能的・能力的なこと(医学モデル)ではなく、今まで障害者と言われてきた人たちが地域の中で阻害され、生きづらさなどを感じている状態(社会モデル)のことを言います。

障害者差別解消法は、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的としていて、地域の中で、障害のある人もない人も互いに敬意をもって接していく社会にしていくための法律です。

障害者差別解消法における差別とは、正当な理由なくサービスの提供を拒否したり、制限したり、条件をつけたりするような行為をいいます。また、障害のある方から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合には、負担になりすぎない範囲で社会的障壁を取り除くために必要で合理的な配慮を行うことが求められますが、この合理的配慮を行わない場合も差別に当たります。知的障害等により本人自らの意思を表明することが困難な場合には、その家族などが本人を補佐して意思の表明することができます。

合理的配慮については、過重な負担とならない範囲で、とされていますが、権利条約の原文では「reasonable Accommodation」であり、一定の理にかなった措置・調整を意味すると訳されます。具体的には一定の理にかなった「便宜」「助け」と解釈すべきで、理にかなったことはお金がかかってもやらなければなりません。

エレベーターの設置ができなくても職員が抱えて上がるとか、行動障害対応の小部屋はできなくても、パーテーションで区切るなど、工夫を積み重ねていくことが合理的配慮であり、今、その人にとって何をすることが合理的配慮なのかということを考え続けることが大事です。

また、ご自身の体験談で合理的配慮、社会的障壁をわかりやすくお話ししてくださいました。親を含め支援者は、勝手に本人の能力に見切りをつけてしまいがちですが、年齢相応の生活経験を提供し、どうすれば今の状況で年齢相応の社会生活を送っていくかを考えていくことが究極の合理的配慮です。

そして、自立とは、自分の暮らしは自分で決めるところから始まります。自分で出来ない事は手伝ってもらって出来たらそれは自立だと言う考え方、それが自己決定、自己選択です。本人が選べる決められる環境設定をしていけば必ず本人は選ぶし、決められます。

「障害のある人もない人も助け合いながら、その人らしい暮らしを実現していく社会に」そんな社会にしたいと締めくくられました。



**★全体研修会★**

# 落語&いきいきはんなりトーク

## ～コミュニケーションでノーマライゼーション～

平成28年度定時総会を5月25日（水）フレンテホールに於いて開催しました。

午後からの研修会では、フリーアナウンサー・司会者でさくらFM（西宮コミュニティ放送）では開局以来パーソナリティーを務め“大川亭さくら”として月に4回以上の高座を務めるアマチュア落語家でもある竹之内由加氏を講師にお迎えしました。

笑うことは全身の筋肉を使う体操になるということで、“あ行。”を使った笑い方や動作で、表情筋の使い方を教えていただきました。

そして表情筋をつかうことでなんだか楽しくなる事を顔面フィードバック効果といい、免疫力アップの健康効果があるそうです。

落語は言葉で伝えるので殺風景です。だから自分でイメージし想像力を働かせます。落語の世界の住人はどこか抜けているが、お互いを補い合い、存在を認め合っています。ぼろくそに言い合ってはいるが助け合っています。上の者が下の者の面倒をみて、構うが構いすぎず、互いに関心はあるが監視はしない。これが本当のコミュニティではないかと思います。

落語は古典落語「崇徳院」を聞かせて頂きました。



### おめでとうございます！

平成28年10月14日(金)、第60回兵庫県知的障害者福祉大会において、長年、育成会活動の発展に貢献された近藤真由美さんが理事長表彰を受けられました。

おめでとうございます。



## ☆☆余暇活動☆☆

## みんなでヒマワリを咲かせよう♪



平成28年7月24日(日)西宮市総合福祉センターにて、今年度第1回目の余暇活動として「ボックスアート」の作成を行いました。

「～みんなでヒマワリを咲かせよう～」と題して行永亞矢先生のきめ細かいご指導の下、粘土や絵の具を使った29個の個性豊かなヒマワリが咲き誇りました。参加された方々も満足度・達成感がいっぱいの素敵な笑顔を咲かせていました。

第2回・第3回の余暇活動も楽しい企画が予定されています。どうぞ、ふるってご参加ください。

## 平成28年度 ご寄付(敬称略・順不同) 平成28年10月末現在

社会福祉法人一羊会 西宮福祉ボランティアグループ雑草 税理士法人丸岡&パートナーズ  
高橋早百合 石井修 古川勝 栗林和徳 中島忠男 佐々木康晴 佐川千恵子

## 平成28年度 賛助会員(敬称略・順不同) 平成28年10月末現在

三浦昇 久米利津子 藤井里美 佐々木康晴 牧原寛之 伊藤博章 大前繁雄 大前はるよ 石井修  
上林達児 西宮福祉ボランティアグループ雑草 村内光一 玉村悠南 平山圭恵子 福原隆裕  
塩谷健介 吉川治子 安田文彦 枝植匠 仲塚千夏 大西勝代 堀江史子 松波道子 松枝千尋  
宮川達 栗原裕実 吉田高 四方勝 谷田松子 樋口由美 佐竹基宏 黒瀬美代子 上仁沙織  
花澤陽子 小西隆宏 山本輝 門脇秀弥 秋山健一 中村行宏 谷口雄大 北川泰寿 橘実千代  
石川玲子 吉見京樹 中村有美 増田亜仁 三田谷治療教育院 中川雅之 中島忠男 岡田朱加  
中村喜弘 深見秀敏 三木さおり 久保廣高 山口有香 斯波幸人 佐山修 西井明子 清水彩里  
吉田昌明

## ご贊助のお願い

当会は、知的障がい児・者がその人らしく生きていくための一助になることを願って、様々な活動をしています。ぜひ、賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ・年会費：1口 2,000円 ・口座番号：00940-9-19101 (ゆうちょ)
- ・口座名義：一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会

## 編集後記

今年の広報部はパソコンがまともに出来ない人ばかりで、周りの色々な人達に助けを求めるながら、悪戦苦闘(;\_;)何とか発行までに至りました。

たくさん的人にご迷惑をお掛けしましたが、広報部一同、今はただただほっとしています。

助けて下さった方々、原稿にご協力頂いた方々、本当にありがとうございました。

広報部一同より